



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2008.10.8 (No.2521)
週報 No.14

第2560地区ガバナー／馬場 信彦
会 長／中村 和彦
会長エレクト／菊池 渉 (クラブ奉仕A)
副 会 長／樺山 仁 (クラブ奉仕B)
幹 事／石月 良典
S A A／明田川賢一
会 計／杉山 幸英

例会日／毎週水曜日12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:59名中33名
■先々週出席率:91.38%

【ゲスト】

・地区社会奉仕委員長
鈴木重彦 様

【先週のメイクアップ】

[10.4] 米山奨学セミナーへ
・会田二郎さん
[10.6] 三條南RCへ
・斎藤弘文さん



「夢をかたちに」

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ



ロビラキ

会長挨拶

中村和彦 会長

建築用語の日常語化

縁の下の力持ち



縁下の東石は四分の二が土中、四分の一が縁の内に隠れ、人目につくのは残りの四分の一だけ。しかしこれで建物が安定して支えられている。この隠れた力。

鬼も十八番茶の出花

番茶でもいれたては香がいい。鬼でも娘盛りは花だという意だが、鬼はここでは鬼瓦で、十八個も使えば建物も立派になり見栄えがすること。

うだつが上がらぬ

うだつは宇立(うだち)で、屋根の棟上にもう一つ小さな棟をつけ、これは換気口。建物が大きくなれば宇立も幾つもつけねばならない。大きな邸宅をつくれるような立身出世ができない意。

子は鏝(かすがい)

夫婦の仲を繋ぎ止めるのが子、家を組立てる際の材木を固定させる大事な金具。

反りが合わぬ

社寺建築では軒端の反りが巧く合わぬと建物が立派に見えない。意見や気持ちがあまく合致しない間柄などに言う。

裏目に出た

一般にはサイコロの裏表の奇数偶数にかかわるが、これも建築で差矩（さしがね）の表目と裏目の寸法の使い方のむずかしさに由来する。単に思惑違いについてだけでなく、軽率を戒める意にも使われている。

おちよぼ口

小さく美形の口つきを言うが、引出しの小さな取手をチボと言ひ、それがなまってチョボとなったとも言う。歌舞伎の囃方の場所もチョボで、舞台出入の関係でできるだけ小さく狭くしたので、そこをチョボ口と言うようになった。

根回し

政治家がよく使う言葉。

家を建てる時基礎を掘るのが根伐、ぐるっと掘り回す根伐回しすなわち根回しで、隣近所に了解を求める、関係方面に事前に話をつけること。

縁口（へりくつ）

建物は縁（ふち）の仕上がが大事、棟領が自分の力量ですもの、他人の口出しを嫌う。無責任な人がとやかく言うこと。そのほか糠（ぬか）に釘、杓子定規、地固め、捨石、縄張り、テコ入れ等々。

ニコニコBOX

中村和彦さん

鈴木様、卓話ありがとうございます。楽しみにしています。

先週、友人と至仏山へ登山に行つて来ました。紅葉がきれいでした。

石月良典さん

鈴木地区社会奉仕委員長様、本日はありがとうございます。

菊池 渉さん

10月4日、愚息^{ぐそく}が結婚できました。家族が増えたのに、食卓を囲む人数が減るというのも時代でしょうか。

浅野金治さん

先週、ベトナムに行つてきました。インフレでベトナム通貨ドンも“ドンドン”下がってました。

小出子恵出さん

4日、5日に三条RC登山同好メンバーと至仏山と日光白根山の秋を満喫して来ました。メンバーにお世話になりました。

五十嵐昭一さん

先日、28年卒業高校同窓会が開かれ55年ぶりに顔を合わせる人もおり、喜寿に会うことを約束しました。

山田富義さん、丸山行彦さん、船越正夫さん、若槻八十彦さん、米山智哉さん、石塚欣司さん、高橋 司さん、会田二郎さん、樺山 仁さん、明田川賢一さん、野崎喜一郎さん、藤田紘一さん、

地区社会奉仕委員長鈴木重彦様、卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

10月8日分 ￥ 28,000

今年度累計 ￥505,000

卓 話

「ロータリー社会奉仕活動についての考察」



地区社会奉仕委員長委員長
鈴木重吉 様 (長岡RC)

1. 活動スタイル(アイデンティティ)について

★ロータリーとJC・ライオンズや他の奉仕団体との違い?

私も皆さんも多くの人から質問されていると思いますが、クラブが創立されたときは明確な違いがあったと思います。今は分ける必要はないのかもしれないが、かといって一つになる必要まではない。

自分を磨くことや、他人に奉仕するという基本は皆同じである。

ロータリアンは、高い理想を強く持つことが大切である。

2. 現状に目を向けて

★時代の趨勢

特権意識の瓦解…時代錯誤(視点を変えれば奇異に映る)

ロータリーのバッジを胸に付けていると、外国に行くと空港のロビーでメンバーに会うとそれだけで特権意識があったが、近年は低下してきたような気がする。親や目上の人に対する気持ち、三歩下がって…のような意識が薄れてきている。

集団行動(群れる)への拒絶感…戦後の個人主義の浸透による弊害

若い人たちに顕著に表れているのが、団体で行動する(群れる)ことが少なくなってきている。私は10人家族ですが何が食べたいかは、おじいちゃんおばあちゃんに聞け。二人が食べたいものでよい。そうやって団体で生活することで上から下に正確に伝わってゆくのです。ご飯を食べるとさっさと自分の部屋に入ってテレビを見ては、親子の会話が成り立たない。そんなところに不祥事が起きる原因があるのかもしれない。

★会員の意識変化

★経況の悪化

株の話もしましたが昨今非常に景気が悪い。私の所で6年間造園の仕事をしていたベルギー人から連絡が来ましたが、フランス、ドイツが戦々恐々としている。イギリス以上に悪い。これは世界恐慌の入口に入っていることは間違いなくいえる。日本はイラン、イラク戦争の時のようにアメリカに併合する

ようなことがあってはならないですよと言われた。

世界大恐慌になるかもしれないが、全員が飢えること無い。全部貧乏になることはない。お金が高いところから低いところへ変わることはある。

そんな時こそ、それぞれが地域の連携をとって立場を守る。それでこそロータリアンとして試されるのではないかと思う。基軸通貨がドルなのだがアメリカ主導になってはならない。と、かのベルギー人が言っていた。

3. 単年度事業の功罪

★組織の恒久的発展のためには日本文化と欧米文化の根本的な違いを認識

「日本の心」のルーツは

縄文時代から遺伝子の継承による世界観「ノラとハラ」

「和」のころころ = 海洋型農耕民族の原点

日本は唯一の海洋型農耕民族であるといえる。周りを海で囲まれている日本と、大陸で繋がっている狩猟民族とは文化の形成は全く違うと思う。一万年前に農耕が世界に広がっていった。縄文時代には、丸太舟でマレーシアや樺太に縄文人が行っている。間違いなくその遺跡が残っている。

日本人は垣根を設けなかった。そうやって自然と共生してきた。

4. ロータリーの役割を考える

★「奉仕の理想」の理念に沿った、ぶれない活動

★継続することの大切さ

継続しなければ育たない事業もある = 継続こそが大切な事業もある

5. 防災セミナーについて

★きっかけ

青少年育成で地域を守ってゆく、ボーイスカウトもそうですが。

4年前の中越地震で、復興の現地対策本部長を引き受けた。周りからは何を考えているのだと言われた。現に私も膨大な被害を受けていたのです。そんな中、3年間頑張りました。よくぞ会社が残っていたのだと思いました。それは多くの人たちがいろんな形で私を助けてくれたからです。

★継続してこそ、なんぼ

6. ロータリーを楽しむことの意味

ひとりごと

わたしは

今、限りないさまざまな恩恵によって生かされ、ここにいます。

大切なことは、そのことを自覚し、常に感謝の

心で、次なる時代に繋いで行く大切な任務を背負っているということを認識することだと考えています。

そして、

その任務をより良く遂行する手段としてロータリーがあるという良いと思います。「奉仕の理想を追求する」素晴らしい仲間が集い、自らの意思で、心から喜び、進んで行動していると、いつのまにか自分の中で揺るぎ無い自負心と豊かな心を育むことが出来る。それがロータリー。そんな一員で居たいと念じています。

すずきしげいち
〔鈴木重吉プロフィール〕

造園家

株式会社 鈴木造園

代表取締役社長（1950年生まれ）

造園家としてアメリカ、ドイツ、ベルギーなど海外でも、作家活動を展開。中越震災では里山の景観保全と地域再生の視点から、被災地域と行政、市民一体となった実践プログラムを推進。

次週例会 10月22日 「米山奨学月間」
米山奨学生 ケオ・ヴィチエット 君

次々週例会 10月29日 クラブ休会

